



全体討議風景

第14回三市中蒲地区 PTA研究集会報告

—子供の健全育成を図るためPTAの活動はどうあるべきか—

好天に恵まれた去る七月五日(日)三市中蒲PTA連絡協議会主催のPTA研究集会が、小須戸小学校にて開催されました。参考者は六十七校より約四百名。「子供の健全育成を図るためにPTAはどのような実践活動をすればよいか」の研究テーマのもと、分科会・全体指導等で活発な討議が展開されました。(ここで分科会での指導、助言の御意見を中心ご紹介します。)

◆氾濫する情報への指導と対処する仕方はどうすればよいか

家庭内における問題として、子供は、ファミコン、ビデオ等があげられます。親として将来的展望に立ち対処すべきです。与えればなしでなく親も一緒にやる位の構えが欲しいと思いま

す。親は買いたいだけでなく与える時の約束事もきちんと決めて、絶対に守らせる必要があります。他家の訪問は留守時は絶対駄目とか、挨拶とか、その家のしきたりを厳しくしつけじめをつけさせることです。

◆望ましい親子の対話は、どのように進めればよいか

親子の対話は千差万別であり無理に価値観をつけなくてよいのではないかでしょうか。親が一生懸命働いている姿を見る時、そして、子供と一緒に汗をかく時、

感情にまかせずに、一貫性のある叱り方をする事が大切です。子育ての五原則は、励ます・慰める・叱る・ほめる・喜び合うのです。親と子の信頼関係の中、子供は健全に育つといふのです。

◆基本的生活習慣のしつけ方はどうあればよいか

身につければならないしつけは、くり返し返しやる事が大切です。親や教師が手本をみせてやる事も必要です。子供は、親の背を見て育つたとえ通りと思って下さい。しつけは動機づけが大切です。なぜ

いい、須戸公民館報

町館 信日
戸民常 15
須戸田月
小中成毎
發行所 印刷所
發行人 田昭栄堂印刷所
發行日 毎月



るのかを理解させてやらなければいけないでしょう。やらせには、ほめ言葉を使ってやります。しかし過ぎてはいけません。子供の発達に合わせて、ようすをよく見続ける事も大切で

しょう。

子ども達を取り巻く諸問題に「これで終り」はありません。

それは一人一人の子どもに対す

る地域や、学校そして父兄の「

健やかに育つて欲しい」という

思いのほかありません。

このようなかで、PTAは、改めて子どもの現実の姿を見つ

め直し、二十一世紀に生きる子

どもたちのため、人間性豊かな

社会生活を築ける力を育成する

責任があると考えます。

十五年目の大ベテラン。

「保存燈籠は五年目ですね、

きつかけは役員になつて手伝い

に行つたのが最初ですね。」

祭りになれば一番注目を集め

る保存燈籠ですが苦心する事は、

外題(場面)の設定がね。テ

ラバ、人の長所や父の仕事ぶり、

力の大切さなどをおしゃれてやる

事が対話になりやすいのです。

話すより、聞き上手の

事です。話す事で、身近にあるオモチャやをかい

てみました。

レジも時代劇なんか頭ひねつて

苦しみながら見てねばダメです。

決まれば人形作りも半分終

ったみたいもんなんだけどね。」

機と話された姿が印象的であつた。暑い夏小須戸祭りは近い。

品物を取り扱う事でかなり気を使うと言われる。しかし反面、

「人形を燈籠につけたままのぶ

つけ合いでできれば迫力があつ

て見たえがあるんですけどね。

でも無理な話だと思いますよ。」

人形を燈籠につけたままのぶ

の

第42回 県展入選 (3)

第24回 小須戸町近郷 庭球大会 結果



第24回 小須戸町近郷 庭球大会 結果

去る八月二日(日)新津南高校テニスコートにて、第二十四回小須戸町近郷庭球大会が開催されました。当日は近郷を開催されました。成績については次のとおりです。

男子Aクラス	女子Aクラス
一位 白根高校A	一位 新津南高校A
二位 小須戸クラブ	二位 新津第一中学校
三位 聖籠中学校	三位 小須戸中A

男子Bクラス

女子Bクラス

白根第一中学校A

田上中学校B

白根第一中学校B

白根第一中学校A

田上中学校A

白根第一中学校B

白根第一中学校A

田上中学校B



日時 九月二十日(日)
会場 中央公民館二階ホール
会費 五百円 これから会員になられる方七百円

小須戸町連合婦人会
親睦交歓会御案内
規定期定 小須戸町在住並びに通勤、通学者に限る。
投句先 小須戸町中央公民館内、日時 八月二十三日(日)
メモ 町民俳句大会係宛
選考 小須戸町在住各俳句結社
同人十名程度の合点による

兼題 雜詠未発表作品
(官製葉書又は同型紙使用のこと)
文化祭協賛 第五回町民俳句大会
作品募集

日時 九月十一日(日)
会場 水田老人クラブ
設立記念講演会

新保分館運動会

日時 九月二十一日(水)
会場 小須戸町中央公民館内
第三回親子釣り大会

日時 八月二十二日(土)午後
会場 中央公民館三階ホール
第三回親子釣り大会

日時 八月二十三日(日)
会場 水田老人クラブ
初心者俳句教室のお知らせ

日時 九月二十日(日)
会場 中央公民館三階ホール
短歌

古びゆく雁木家並に喧嘩燈籠若衆どよめきや
まづ音れゆく
朝霧をつらぬき聞こゆ鶏鳴の遠きしあれば里
の深しも
百姓の祝辞株読み柿の花

柿の花ばづんと池が水輪生む

江凌いの笠一列に夏の雲

夏蝶や子呼ぶ束の間見失う

郭公に遠出のペタル軽くふむ

着重ねて旅立つ朝の走り梅雨

母の日の母へ土鈴の旅みやげ

一面の夕日が平ら麦の秋

江凌いの笠一列に夏の雲

百姓の祝辞株読み柿の花

柿の花ばづんと池が水輪生む

古びゆく雁木家並に喧嘩燈籠若衆どよめきや
まづ音れゆく
朝霧をつらぬき聞こゆ鶏鳴の遠きしあれば里
の深しも
百姓の祝辞株読み柿の花

ながき梅雨明けやらぬま、秋立つ日本檍の花
のしろじると咲く

加藤 茂



去る七月二十一日(水)新津市民会館にて、第三十八回新潟県公民館大会が開催され、県内七十四市町村、六百余者が参会しました。当日は「地域に根ざした公民館のありかた」をテーマに、パネル討議、講義を中心とした中から「生涯学習」に向けた公民館の在り方を討議しました。

それは地域の問題にはかなりない。公民館の事業を通じて地域課題を発見し、あるいは問題提起し、その解決策を提出するなど、多くの人間のやらないものを、公的的社会教育行政がやることである。

学習啓発と学習情報の提供も公民館の重要な仕事である。大都市はいざ知らず、地方の中小都市や町村で市民文化が成熟しているとはいえない。公民館が学びたいために、アトラクションを行ないますので出演希望の方は御用意下さい。後日申し込み用紙を配布いたします。

尚、アトラクションを行ないますので出典希望の方は御用意下さい。後日申し込み用紙を配布いたします。

文化祭協賛 第五回町民俳句大会
作品募集

日時 八月二十三日(日)
会場 蔵町五ゲートボール場
(雨天の場合町民体育館)

時二十分中央公民館前集合
場所 自根市笠巻町内大通り川
入賞 一位(三位まで六名)
大物賞一位 一名
入賞者には賞状及び賞品、参加者全員に参加賞

日時 八月二十八日(金)
午後七時より九時まで
会場 蔵町五ゲートボール場
(雨天の場合町民体育館)

時三十分から八時四十分まで
会場 中央公民館三階ホール
映画内容 ○うかれハイオリ
○やまあらしがやつて来た
○金色のあしあと他

日時 九月二十日(日)
午後七時三十分より
会場 中央公民館三階ホール
講師 小林均先生

日時 九月二十日(日)
午後七時から九時まで
会場 中央公民館三階ホール
講師 塩田安成先生

日時 九月十一日(金)
午後七時から九時まで
会場 中央公民館三階ホール
講師 小林均先生

日時 九月二十日(日)
午後七時三十分より
会場 中央公民館三階会議室
内容 俳句作品の添削と指導

議師 松本雨生先生

清作 武雄 まさや 源良平 キヨシ 春江 タネ キヨノ

信子 志枝 みなみ 米二

佐藤新治郎 高野 初江

村山 浩子

大森美恵子 田沢 徳市

高野 初江</p